



11月号

令和 2 年 11 月 1 日発行  
 【発行者】〒 168-8510  
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
 社会福祉法人 浴風会  
 TEL (代表) 03-3334-2101  
<https://www.yokufukai.or.jp/>  
 【編集者】浴風会本部事務局  
 浅井 敏男  
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

秋晴れの中庭から見た本館

# 地域の医療保健福祉の 総合センターとしての浴風会に期待

社会福祉法人全国社会福祉協議会

常務理事 金井 正人



この度、全国社会福祉協議会常務理事に就任いたしました金井正人です。

私は新潟県の雪深い小さな村（現在は上越市）で稲作農家の次男として生まれ高校卒業まで家の手伝いと剣道を行っていました。その後厚生労働省で40年余り主に福祉関係（措置費、生活保護、介護保険、地域福祉など）の仕事をしてきました。その間に、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの大きな災害が多数発生し、その支援も行ってきました。この度、社会福祉事業全般にわたる全国的な推進組織として、110年を超える非常に歴史のある全社協会の常務理事として就任いたしました。身の引き締まる思いで一杯であります。よろしくお願いたします。

社会福祉法人浴風会は、間もなく100周年を迎えられます。戦前の高齢者養護から今

日に至るまで社会福祉事業の担い手として大活躍されてきました。現在では、特養、養護、軽費老人ホーム、訪問介護、デイサービス、また病院、老健施設など、21世紀の高齢者医療・介護・福祉の総合センターとして、地域との信頼関係のもと地域密着型の各種事業を推進され、積極的な社会貢献など新たな理念と信条に基づき活躍されてきました。

さて、最近の福祉を取り巻く状況は刻々と変化しております。2025年問題、2040年問題、介護人材の不足など様々な課題が明らかになっていきます。また、地球規模の温暖化による気象変動、地殻変動による大地震などの大規模災害の頻発。様々な要因による生活困窮者等の増、8050問題、引きこもり、虐待、ごみ屋敷など地域生活課題も目白押しであります。国は、介護保険制度改正、地域共生社会の実現を目指した社会福祉法の改正など様々な制度改正を行っています。このような中、全社協会は、2020年に「全社協福祉ビジョン2020」を策定し、福祉関係者が目指す社会を「ともに生きる豊かな地域社会」と掲げて取り組んでいくこととしています。

現在、世界中で「新型コロナウイルス」が拡大し生命及び生活の危機に直面しておりますが、一日も早い終息を祈っております。浴風会の近くを流れる神田川の清流にはたくさんのお魚が泳いでいます。「鯉の滝登り」と言いますが、今後の浴風会の更なる躍動・躍進をご期待申し上げます。

## 浴風会 「中期事業計画」について

業務執行理事（本部事業担当）

小河 芳弘



十月一日付で業務執行理事を拝命しました小河です。七月に本部事務局に採用され、はや三か月が過ぎました。この間、浴風会内の各施設や事業所を巡り、事業内容や施設内環境などを視察・勉強させていただきました。各施設長をはじめ関係職員の皆様に厚くお礼いたします。多岐に亘る会内業務をつぶさに拝見することができ、本法人の多彩な事業の実施に、改めて敬服の念を抱きました。まだまだ不勉強ではございますが、与えられた職務を一所懸命務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

人の取組みの一つとして「地域公益活動の推進」を掲げています。これは、これまで法人が培ってきた地域とのネットワークを活かし進めてきた地域活動を、更に前進させようというものです。そのためには、地域のニーズや課題を的確に把握する必要があることから、地域住民や行政との意見交換の場として「住民参加型懇談会」を設置することとし、現在準備を進めています。たまたま先般、杉並区の宇賀神副区長（当法人評議員）と齊藤保健福祉部長にお会いする機会があったので、この懇談会の趣旨を説明し、委員の推薦をお願いしてきました。浴風会における今後の地域公益活動を更に発展させていきたいと思っています。

保が全国的にも極めて厳しい今日、本会の特長をアピールして多角的な採用活動を行うことにより、必要な人材を確保しようというものです。更に、障害者就労支援団体との連携による障害者雇用の拡大や外国人看護職員の受入れ拡充にも取り組むことにしています。一方、職員の育成・定着の観点からは、有給休暇取得の推進やハラスメント対策の充実などの「働き方改革」を進めるとともに、職場内研修の一層の充実を図ることとしています。幸いにも、昨年の浴風会内におけるケアワーカー離職率は五・九%で、全国平均の半分以下に留まっていますが、引き続き職員の定着化に向けた取り組みを進めていきます。

な法人経営を確保しようというものです。そのため、法人組織の活性化と各事業部門間連携の緊密化を更に進めていきます。また、ホームページ等を活用した情報発信を適時適切に行い、関係者の理解や信頼を得るよう努めていきます。財政面では、近年マイナス収支が続いている病院事業、老健事業、通所系介護保険事業において、早期に財政再建方策を検討し、実行していくこととしています。

以上が法人の取組みに係る中期事業計画の概要です。今年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、大変厳しい経営が続いています。令和七年の法人創立一〇〇周年に向け、役員・職員一丸となって本計画の遂行に努めていく所存ですので、ご支援、ご指導の程よろしくお願い致します。

# RUN 伴すぎなみ 2020

## 「今年は歌と踊りでつながろう！」に参加

業務執行理事 地域サービス部長 遠藤 雅晴

皆さんは、RUN 伴（ランとも）というイベントをご存知でしょうか。これは、認知症の人と地域の人が一緒になって、北海道から沖縄まで、全国各地をタスキリレーをしながら、日本列島を縦断しようというイベントです。認知症の人たちに「何かをしてあげる / もらう」という関係を超えて、一緒に何かをする、伴走しているような社会をめざそう」という考えのもとに、タスキリレーのアイデアが生まれ、2011年からRUN 伴が始まりました。名前にはラン（走る）とありますが、実際には歩いて、車椅子でも参加できます。

杉並区では、第1回目の「RUN 伴すぎなみ」が、2018年9月15日（土曜日）に開催されました。参加者は認知症支援のシンボルカラー、オレンジのTシャツ姿で、杉並区内の別々の3か所からスタート。認知症の人がタスキを掛け、ご家族や支援者たちが、RUN 伴ののぼり旗を持って、杉並区役所まで、ゆっくり歩いて行きました。皆が区役所前広場に到着すると、広場はオレンジ一色に染まり、テーマ曲「RUN TOMORROW」を、認知症の人たちを囲んで参加者が合唱し、「杉並区を認知症の人にやさしいまちにしよう」とアピールしたのです。

今年のRUN 伴すぎなみ2020は、第3回目ですが、新型コロナウイルス感染症対策で、皆で集まることはできません。しかし、RUN 伴すぎなみ実行委員会は、つながりを絶やさぬよう、一堂に集まらなくても出来る何かをしようと考えました。その結果、「今年は歌と踊りでつながろう！」を合言葉に、テーマ曲に合わせて、各参加団体が歌や踊りを披露し、それを動画でつなぎ、9月19日にFacebookで公開するという企画になりました。浴風会はこの企画に賛同し、チーム浴風会として参加することにしました。

チーム浴風会には、南陽園、第二南陽園、第三南陽園、老健くぬぎと病院（認知症疾患医療センター）の5つの施設が参加しています。



南陽園チームは、利用者の方が描かれた、疫病退散の象徴「アマビエ」の絵を掲げて、エネルギーを披露しました。また、第二

南陽園チームと第三南陽園チームも、コロナに負けずがんばろうという独特のパフォーマンスを披露。老健くぬぎチームは、利用者の方々が、コロナで面会できない家族にも見て欲



しいという思いで、楽しく踊る姿を披露しました。病院チームは、ユニークな演技で認知症の人へ力強いエールを送りました。

動画を公開中!!



Facebook

<https://www.facebook.com/RunTomoSuginani/>

RUN 伴すぎなみ 2020

～是非、ご覧ください～



YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=oq9yN3boyQA>

# 浴風会の動き (10月)



総合防災訓練 (防災会議)

## 【本部事務局】

22日 第3回理事会(書面決議)開催  
承認事項・就業規則及び給与規程の一部改定

28日 千葉県柏プロジェクトを視察(柏市地域医療連携センター)

参加:京極理事長、遠藤執行理事、大川地域包括支援センター長、高橋医療相談・支援室課長補佐

29日 「浴風会総合防災訓練」実施

「大規模地震想定訓練(伝達等)」のみ実施

※今年の浴風会総合防災訓練はコロナウイルス感染症予防に配慮し、地元3町会との災害時等応援協定に基づく合同訓練(消防署含む)は中止といたしました。(浅井)

## 浴風会ケアスクール

### Caféオレンジリボンウッド



2日 特別区職員互助組合、介護講座  
予防編、生涯現役へ備えて安心「介護の知恵と技」講師:奥村康氏、三澤麻衣子氏、河合恒氏。参加者37名。

6日、13日、20日、27日 介護職員初任者研修15期生スクーリング。受講生11

名。講師:越智佳子氏、大津陽子氏、職員、林、松上、加瀬、山崎。  
26日 介護職員初任者研修16期生スクーリング開講。受講生24名。講師:職員、服部。

定期的に開催しております、「よくふう語ろう会」(第2水曜日)と「Caféオレンジリボンウッド」(第2月曜日、第4金曜日)は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。また、例年10月に開催しておりました「浴風会つながるフェスタ」も中止とさせていただきます。(鈴木)

## 【老人福祉事業】

### 浴風園 (養護老人ホーム)

7日 毎年恒例の日帰り旅行はコロナの影響で中止となりました。例年より外出することを控えている方もいらっしゃると思います。だいたい朝・晩が涼しくなり、日中天气が良い日には、スタッフがお一人で外出することが難しい方を園内散歩にお連れしました。久しぶりの散歩の方もいたようで、外の空気を吸い気持ちよさそうでした。また浴風園では、毎月、3回ほど買い物デーという支援をしております。ご自身で買い物に難しい方が対象で、スタッフが、近隣の電気屋さん・デイスカウント店等に買い物支援も行っております。(徳増)

### 松風園 (軽費老人ホーム)

8日 新型コロナウイルス感染症の勢いが衰える中、利用者の皆様も対策と

## 浴風会ケアハウス



昨年のようなバザーでご利用者の活躍が見られず残念でしたが、作品作りでは、「すてきなハンドメイド」という活動で、クリスマスマスに向けマスクカバー等の作成を始めました。  
ケアハウスの前に大きなイチヨウがあり、実がたくさんなっています。実や落ち葉の掃除には、ご利用者の皆様がボランティアでご協力くださっています。地域の方々も、実を拾ってお持ち帰りされているようです。ニオイがありますので、頭上にも下にも気を付けてお通りください。(尾滝)

## 【介護保険事業】

### 南陽園 (特別養護老人ホーム)

14日 5階フロアでは「料理の会」で栗ごはんやキノコのクリーム煮を作り、

お昼ご飯に皆さままで美味しくいただきました。  
18日 「デザートバイキング」を行いました。ケーキやゼリー、りんごパイなどたくさんのおデザートの中から好きなものを選んでいただきました。(丸山)



### 南陽園在宅サービスセンター (認知症対応型通所介護)

デイサービスでは、脚力を維持するため、平行棒を使った訓練を行っています。長さ三メートル五十センチの平行棒の両脇に、ご利用者のみなさんが座り、棒をつかんでの立ち上がり訓練や、棒をつかんでの端までの足上げ歩行や段昇降など、リーダーの職員の掛け声に合わせて行っています。皆さんとても真剣な表情で取り組んでくださっています。このような活動を継続していくことにより、ご自宅、家族一緒にいつまでも生活ができるように、お手伝いのできたらと思っています。(鶴間)  
★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。  
◎電話 03-3334-2743

### 第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

1日 お月見のお団子を紙粘土で作りました。ススキと一緒にデイルームに飾りました。お団子作りでは、「どのくらいのお団子が見えるかしら」「ちゃんとお団子に見えるかしら」と、心配されながら作られていましたが、出来上がりを見ると「りっぱなお団子ができ

た」と得意げな顔をされるご利用者もいらつしやいました。

**21日** クッキング★カフェを開催し、さつまいもパンケーキとマロンプリンを作りしました。出来上がったパンケーキには、リンゴジャムやクリームチーズソースを自分たちで飾りつけを行いおいしくいただきました。(石渡)

### 第二南陽園在宅サービセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

天気の良い日は園庭散歩を实施了しました。秋の風を浴びて、秋の花を愛でる時間となりました。徐々に秋が深まって参りましたが、今月も皆様は楽しくお元気に通所頂いております。(隈本)



★ご見学のお申し込みやお問い合わせは、随時受け付けています。

◎03-3334-2140

### 第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

#### 「当日選択食」

**14日** 第三南陽園では当日選択食を行いました。メインディッシュの白身魚に「トマト」「チーズ」「バジル」の3種類のソースの中から好きなものを選んでいただきました。何と、ソースの種類でメインディッシュの味がガラッと変わります！一番人気はチーズでしたが、「バジルって何？食べてみようかしら」とチャレンジされるご利用者も。「初めて食べたけど案外おいしいわね」と昼食時にちよつとだけ豪華な気分と新たな発見も味わっていただけようでした。今後もご利用者

に楽しんでいただけるようなイベントを企画したいと思えます。(佐々木)

### グループホームひまわり



**1日** 十五夜 ひまわりでは、お月見団子ならぬ、「お月見饅頭」作りを行いました。あんこがいっぱい

入った美味しそうなお饅頭が出来上がり、スキも飾って記念撮影しました。**5日** 落花生掘りを行いました。大収穫！とはいきませんでした。大粒の落花生が収穫できました。採れたてをすぐに塩ゆでして、早速その日のおやつに召し上がりました。温かくて、柔らかな落花生は格別でした！

**14日** 「おいなりさん作り」をしました。今回は豪華にいくらをのせて、とても美味しそうな「おいなりさん」が完成しました。「おいなりさん大好きなよ！」と大変喜ばれていました。(谷口)



### 【地域サービス事業】

#### 地域包括支援センターケア24高井戸

今年度の家族介護教室は、第1部で、昨年度大好評だった浴風会病院の佐藤医師による『「人生の集大成」を支援する医療とケアについて』の講座、第2部は、『人生の最期にどう在りたいか。ゲームを通して考えてみませんか』というテーマで「もしバナ」カードを使って8月、9月に開催しました。ど

ちらも好評で、またゲームに参加したいという声も有りました。同じ内容で11月に開催を予定しています。コロナの関係で人数の制限も有りますが、今後も地域で考える場を設けて行きますので、一緒に考えましょう。(尾関)

電話03-3334-2495

### 【病院事業】

#### 浴風会病院



「インフルエンザ予防接種実施中です」予約制で接種を行っております。薬剤の確保ができましたため11月分について追加予約を受け付けております。今年度の予約は11月分をもちまして終了の予定ですので、お早目のご予約をお願いいたします。

◎予約電話 浴風会病院

03-3332-6511 (代表)

「インフルエンザの予約」とお伝えください。月曜、金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時までとなります。(多古)

#### 老健くぬぎ (介護老人保健施設)

**開設記念** 老健くぬぎが平成26年10月に開設してから6年が経過しました。ご利用者の皆様にも祝っていただこうと恒例の「フルーツバイキング」開催。

コロナ禍のなかバイキング形式ではありませんでしたが、職員が取り分けたお好みのフルーツを美味しく召し上がっていました。

**12日、14日** 3階デイケアでは「文化

祭」を開催。太鼓、シンバル、鈴など色々な楽器を演奏したり、川柳を読んでいたたりしました。サラリーマン川柳にも劣らない内容もあり、ご利用者のセンスに感心するばかりです。

新型コロナウイルス感染症予防のため、面会制限を行っておりましたが、15日より一部緩和し予約制にて面会を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。  
◎03-5336-7701 (代表)  
◎03-5336-7734 (入所)  
◎03-5336-7704 (デイケア)

### 【研究・研修他】

#### 認知症介護研究・研修東京センター

**12日** 東京センター運営会議 (Zoom)  
**16日、20日、30日** 老健事業委員会 (Zoom)

認知症地域支援推進員自作動画配信スタート

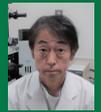
10月1日から申込み開始  
参加登録いただいた方に、詳しい案内をお送りします。皆様のご参加お待ちしております！  
まずはお申込みを！左記URLよりお申込みください。  
[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_akC78uG-RxWKOnenS4Mgg](https://zoom.us/webinar/register/WN_akC78uG-RxWKOnenS4Mgg)

第1回セッション和歌山県御坊市  
テーマ「本人の声を起点に暮らしと地域を共に作る」 (富島)



## 浴風会病院 『縁の下の力持ち』でありたい ～臨床検査技師の役割～

臨床検査技師長 磯貝 晴彦



病院を舞台にしたドラマでよく描かれる職種は医師と看護師、最近では診療放射線技師、薬剤師もありました。でも臨床検査技師が描かれることは少なく、なじみの薄い職種ですのでこの場を借りて紹介させていただきます。

臨床検査は患者さんから採取された血液や尿などを分析する検体検査と、心電図、超音波（エコー）検査などの生理機能検査の大きく 2 つに分けられます。検体検査の中には血糖値、GOT、GPT など皆様もよくご存知の検査だけでなく、感染症の原因となっている微生物を特定し、効果のある薬の種類を調べる細菌検査や、安全な輸血のために患者さんに適合した血液を選択するための検査や製剤の確保を担当する輸血検査。顕微鏡で血液細胞を観察し血液の病気の有無を調べる血液検査など多岐にわたり、一人前の技師になるには長年の「修行」が必要です。また生理機能検査である超音波検査は、撮影技術だけでなく、所見を正しく判断する知識と、わずかな異常も見落とさない鋭い観察眼が求められ、こちらも一朝一夕に技術が身につくものではありません。臨床検査科には、一定の技術・知識を身につけた技師として超音波学会が認定した「超音波検査士」が 4 名在籍しており、日々後進の育成、技術の向上に努めています。臨床検査の役割は「医師が病気を診断するために必要な根拠となる検査データを提供すること」です。検査データが不正確だったり、見落としが多かったり、迅速性に欠けては良質な診療を支えることができません。また、ご高齢の患者さんは、

来院にご家族の付き添いが必要な場合も多く、頻回の来院が容易でないことも多いと思われます。このような患者さんのためにも、必要な検査がすぐに受けられ、当日に医師から結果の説明が受けられる診療体制を支えることも臨床検査科の使命と考えています。医師・看護師に比べ患者さんと直接お会いする機会の少ない臨床検査技師ですが、見えない『縁の下』で日々努力することで皆様により良い医療を提供できるよう、これからも頑張っております。

現在、新型コロナ対策として、換気のために検体検査室の入口はほぼ開放状態です。立入はご遠慮いただいておりますが、廊下からの「覗き見」は大歓迎です。『縁の下』で働く臨床検査技師の存在を少しでも知っていただければ、技師 10 名にとって何よりの励みになります。



### お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、浴風会病院及び各施設におきましては面会の一部制限を行っております。また、会内レストラン（第三南陽園、ケアハウス）の一般利用者のご利用を控えさせていただきます。詳しくは各施設へお問い合わせください。



### ご芳志

令和 2 年 9 月 16 日から 10 月 15 日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様

●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufuukai.or.jp

<https://www.yokufuukai.or.jp/>